

追跡レポート

JR豊肥本線早期復旧・電化延伸に向けての要望活動

発災から2年9カ月。村民の生活再建とともに現時点の重要課題は、社会生活基盤の再生であり、被災した道路、鉄道等の早期開

通が復旧を加速させることになる。沿線自治体・県が一丸となった取り組みにより、南阿蘇鉄道は4年後の全線復旧が決定した。

今回は、JR豊肥本線早期復旧、立野駅までの電化延伸に向けて、本議会の全力、総力をあげての要望活動をレポートしたい。

JR復旧電化のメリットは

○南阿蘇鉄道とJR豊肥本線全線復旧は、通勤通学・通院、観光客増加のためにも、非常に重要であり、また、阿蘇の玄関口、立野駅を中心とした立野地区再生のためにも大切。

○立野駅までの電化延伸の効果は、乗換えが減り、便数の増加が期待され、地区の振興、南鉄線新設予定のダム駅活用、有効利用等の相乗効果で乗降客の増加が見込まれ

る。電化は環境負荷の低減にもつながる。

①電化延伸要望活動の経緯

・平成9年・阿蘇郡町村会でJR九州へ肥後大津駅から宮地駅までの電化延伸陳情開始

※以後、阿蘇市町村会、議長会で要望活動を継続

②南阿蘇村議会での要望活動等

・平成27年・JR九州へ陳情活動、要望書提出↓担当・地方創生対策特別委員会

熊本地震発生

・発災後・国県等関係機関へJR線南鉄復旧、全線開通へ向けて緊急要望活動 継続中

・平成29年2月・村へ復旧復興策の提言書提出↓復興地方創生対策特別委員会

・平成29年9月・県へ要望書提出↓議長

③平成30年 新たな要望活動

・平成30年4月

村復興に向けて、日々課題は変化していく。本議会では課題を再整理し、立野地区の再建、創造的復興を目指すには、この時期、立野駅ま

での豊肥本線早期復旧と併せ、電化・延伸することが重要であるとの全議員の考えを集約・確認し、あらためて強力な要望活動を開始した！

強力な要望活動とするために

・平成30年6月～8月

JR、関係機関へ沿線住民の声として届け、強力な要望活動・要望書とするため、熊本市議会、菊陽町議会、大津町議会へ趣旨説明・協力要請を行った。

↓議長、副議長

※立野ダム建設で協力関係にあり、豊肥本線沿線の1市2町議会に依頼し、4市町村議会連名での要望書とするため、何度も足を運び理解をいただいた。

要望活動

・平成30年8月31日
国土交通省鉄道局協力要望活動

↓議長、副議長

・平成30年9月12日

熊本県へ（阿蘇地域振興局）協力依頼要望活動↓議長、副議長

・平成30年10月1日

JR九州熊本支社要望活動
↓議長、副議長

・平成30年10月29日
JR九州本社（福岡市）要望活動
↓議長、副議長



要望書を手渡す正副議長

④JR線開通、電化延伸見通し

要望活動時のJR側の説明では、立野駅までの復旧についてはJRが計画的に工事を進めており、今年中の開通が期待できそうだ。

立野～阿蘇駅間の復旧は阿蘇大橋周辺の工事の進捗次第である。立野駅までの電化延伸は、被災地の沿線住民、議会の要望・思いを強く受け止めていただいている。村議会は今後も、村民の乗車機会、利便性向上、南鉄の利用促進、そして、創造的復興のために要望活動を継続して行きたい。

※しかし近況では、復旧工事が難航しており先行復旧は難しい状況との新聞報道があった。

（平成30年12月31日 熊日朝刊）